

きん じょう てん か 錦上添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
12月6日発行 NO.27
文責 出崎 友英

好きなことを頑張る力

メジャーリーグ ドジャーズの大谷翔平選手が3度目のMVPを獲得しました。ホームラン50本と盗塁50個を同じシーズンで達成することを表す「50-50」が、今年の流行語トップ10にあげられるなど、メジャーリーグの歴史をぬりかえ続けた規格外の活躍が日本でも連日報道されています。

そんな大谷選手は数字の目標をあまり言葉にしません。個人の成績よりも、自分がチームの勝利に貢献できているか、そして何よりも「勝ちたい」と考え、そのためにやるべきことにすべての力を注いでいることを、彼自身の発言から知ることができます。

皆さんの中には、そんな大谷選手の活躍に刺激を受けて、(自分も大谷選手のようにになりたい)と思っている人もいませんか。特に、野球に取り組んでいる中学生だったら、「自分も二刀流で頑張りたい」「メジャーリーガーになりたい」という夢を抱く人もいるでしょう。実際、アメリカでは二刀流を目指す中・高校生がとても増えていると聞きます。

一方、大谷選手は確かにすごいだろうけれど(自分には関係ないな。)(あんなに背も高くないし、運動もあまり得意じゃないし、走りも速くないし。)(先生は大谷選手の話をよくするし、テレビも大谷選手のことがばっかりだけれど、私はあんまり興味ない。)と思っている人も少なくないことだと思います。➤



大谷選手のすごいところは、二刀流だからとか走るのが速いから、ホームランをたくさん打つからという理由だけではないと思います。大谷選手は「自分が好きなことをもっとうまくするためにとても努力する人」だからすごいのだと、私は思います。

私たちは、大谷選手のようにホームランを打ったり、速く走ったりすることはできないけれど、自分の好きなことをもっとうまくするために頑張ることはできるのではないかと思います。そして、自分の好きなことをもっとうまくするために頑張ることは、きついけれどとても楽しいことだとも思います。

あなたはごうですか？自分の好きなことを今よりもっとうまく、もっとわくわくするために、練習や勉強を頑張ることは嫌いですか？それとも好きですか？

皆さんがそれぞれ自分の好きなことやがんばりたいことを見つけて、それをもっと好きになるために、もっとうまくするために努力すること。

「私はこれが好き！だからこれをもっと頑張る！」と思えること。それが大切なことだと思うのです。

一人一人好きなことも、努力の仕方も、頑張る方も違います。それでいいのです。君たち一人一人が、自分の好きなことをもっと努力して、よりいっそう自分らしく成長することが大切です。

あなたは何が一番好きですか。自分の何を向上したいですか。大谷選手のように、あなたの一番を見つけて、それが向上するように努力を続けましょう。

参考：原田教育研究所メールマガジン【仕事と考える、人生と考える】VOL. 794

1年生の集団宿泊教室

12月3日(火)～4日(水)、1年生があしきた青少年の家で「集団宿泊教室」を行いました。天候に恵まれて、マリ活動やウォークラリーなど予定していた活動を体験することができ、充実した2日間となりました。2日間の中で、生徒たちの様子を評価していただくことが何度もあり、実りある宿泊教室でした。1年生の皆さん、おつかれさまでした。



◆お知らせです。

○11月29日(金)、芸術鑑賞会がありました。チェロ奏者岩永知樹さんとピアノ奏者砂泊宇希さんによる「G線上のアリア」や「花」「荒城の月」等の演奏を全校生徒で鑑賞して、心に染み入る豊かなひと時でした。岩永さん、砂泊さん、そしてこの会の開催にご尽力いただいた学校評議員の井上先生をはじめとする皆様、ありがとうございました。



○11月30日(土)に九州中体連駅伝大会が天草市で開催されました。本校女子チームが熊本県代表として出場して、九州各県代表の強豪チームと競い合い、7位入賞を果たしました。女子チームの選手とサポートの皆さん、先生方、おつかれさまでした。応援いただいた皆様、ありがとうございました。



君が誰にも負けないくらい一生懸命にできるなら、それは君の才能なのです。 「先生のコトバ集」より